

八尾市

本パートは、圏域単位の情報をご記入ください。

※圏域ごとに作成頂くため、必要なページ数を追加ください。

※各項目のページ数やフォーマットは適宜ご調整下さい。

※詳細は、別添の記載例をご参照ください。なお、記載例は自治体パートの内容と同様です。

1 圏域の基礎情報

市町村数（R 8 年 4 月時点）	1	市町村
人口（R8年3月時点）	257.520	人
精神科病院の数（R8年4月時点）	1	病院
精神科病床数（R7年6月時点）	389	床

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

< R 7 年度までの成果・効果 >

課題解決の達成度を測る指標	目標値 (R 7 年度当初)	実績値 (R 7 年度末)	具体的な成果・効果
①「にも包括」協議の場の開催状況（参加人数）	15名	53名	病院と地域で受け入れる立場（支援者）のそれぞれが考え実践している支援についてのすり合が行えたことで、病院側は安心して地域へ送り出し、地域側も孤立せずに受け入れられる体制（効果）の構築へとつながる、一歩となった。
②心のサポーター養成研修受講者数	100名	152名	市民および関係機関職員等に対し、メンタルヘルスや精神疾患に関する正しい知識を普及することができた。
③			

3

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

【特徴（強み）】

保健・医療・福祉関係者等による協議の場において、行政・医療機関だけでなく、地域で精神障がい者を支える障害サービス事業者等や高齢者支援に関わる事業者等、様々な分野の支援者による顔の見える関係性を構築することができている。

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割（取組）	
精神障がいのある方が地域で安心して自分らしく生活するため、支援体制の構築・維持に向けた活動が今後必要である。	「にも包括」協議の場の開催 関係機関間の連携強化	保健	精神疾患のある方が適切な治療につながり、治療継続できるよう、医療・福祉等の関係機関連携に努める。
		医療	入院時から地域意向を見据えた支援体制の構築できるよう、関係機関連携に努める
		福祉	顔の見える関係づくり
		その他関係機関・住民等	メンタルヘルスや精神疾患に関する正しい知識をもつ
		保健	
		医療	
		福祉	
		その他関係機関・住民等	
課題解決の達成度を測る指標	現状値 (R 8年度当初)	目標値 (R 8年度末)	見込んでいる成果・効果
①「にも包括」協議の場の開催状況 (参加人数)	－	15名	支援体制の構築・維持に必要な関係機関との連携強化
②心のサポーター養成研修受講者数	152名	252名	市民および関係機関職員等に対し、メンタルヘルスや精神疾患に関する正しい知識を普及する。

4

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための協議の場の実施状況

名称	協議の場の構成員	開催頻度	実施内容	特記事項（課題・強み等）
八尾市精神障がい者支援地域包括ケアシステム実務者連絡会議	保健：保健所	年1回	大阪府における精神科病院入院患者の状況についての報告（630調査報告） 八尾市における精神科病院入院患者の状況についての報告（630調査報告） 精神障がい者の地域移行支援体制の構築に向けた意見交換等	地域における精神障がい者への支援の実際について、サービス事業所の取り組み事例やその他の支援にかかる事業を共有する場となっている。
	医療：精神科医療機関、訪問看護ステーション、			
	福祉：障がい福祉サービス事業所、相談支援事業所、地域包括支援センター、社会福祉協議会、就業・生活支援センター、有料老人ホーム、生活福祉課、つなげる支援室、障がい福祉課（基幹相談支援センター）			
	その他関係機関・住民等：居住支援法人			

【その他事項】 ※協議の場の運営における課題や悩んでいる点、アドバイザーに相談したい事項など、自由に記載してください